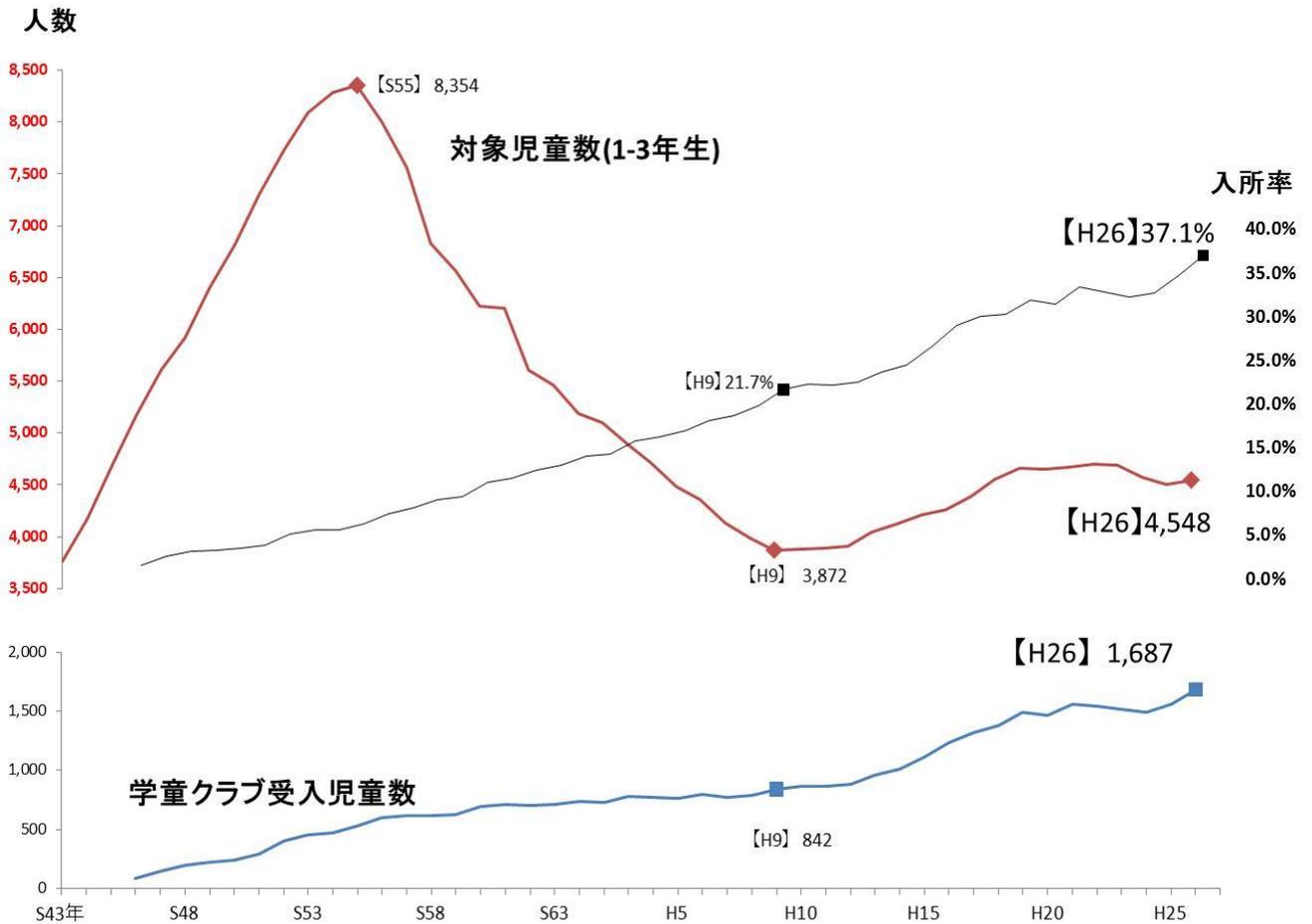


<日野市の学童クラブに対する取り組み状況について>

【日野市の学童クラブの歴史・対象児童数と出現率】

- 日野市の学童クラブは、昭和43年、日野市社会福祉協議会への委託によりスタートした。昭和46年には、対象児童数5,164名に対し、受け入れ児童数は84名・出現率1.6%であった。（3施設）その後、対象児童は昭和55年をピークに減少を続けているのに対し、出現率は上昇を続け、平成26年には37%に達し、受け入れ児童数も増加が続いている。
- また、国が示した「子ども・子育てビジョン」（平成22年）によると、平成29年度には小学校1～3年生で想定した場合でも40%に達する潜在需要があると分析している。

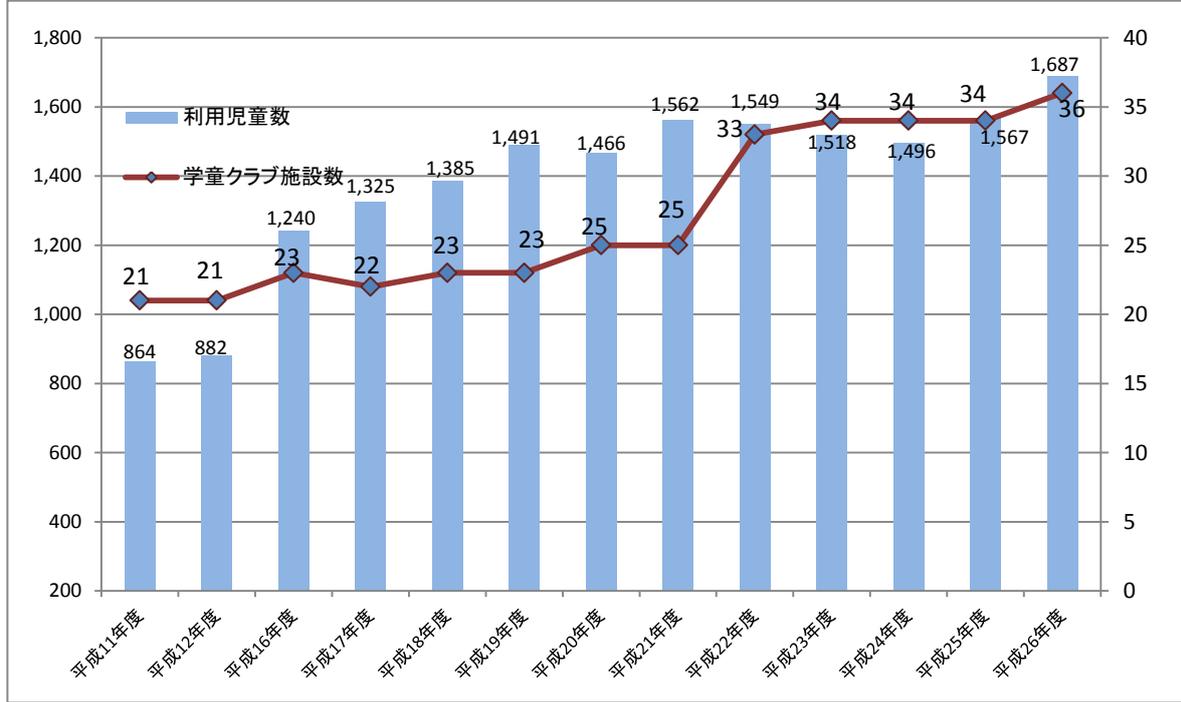


「新！ひのっ子すくすくプラン」より

【平成11年度以降の状況と他市との比較】

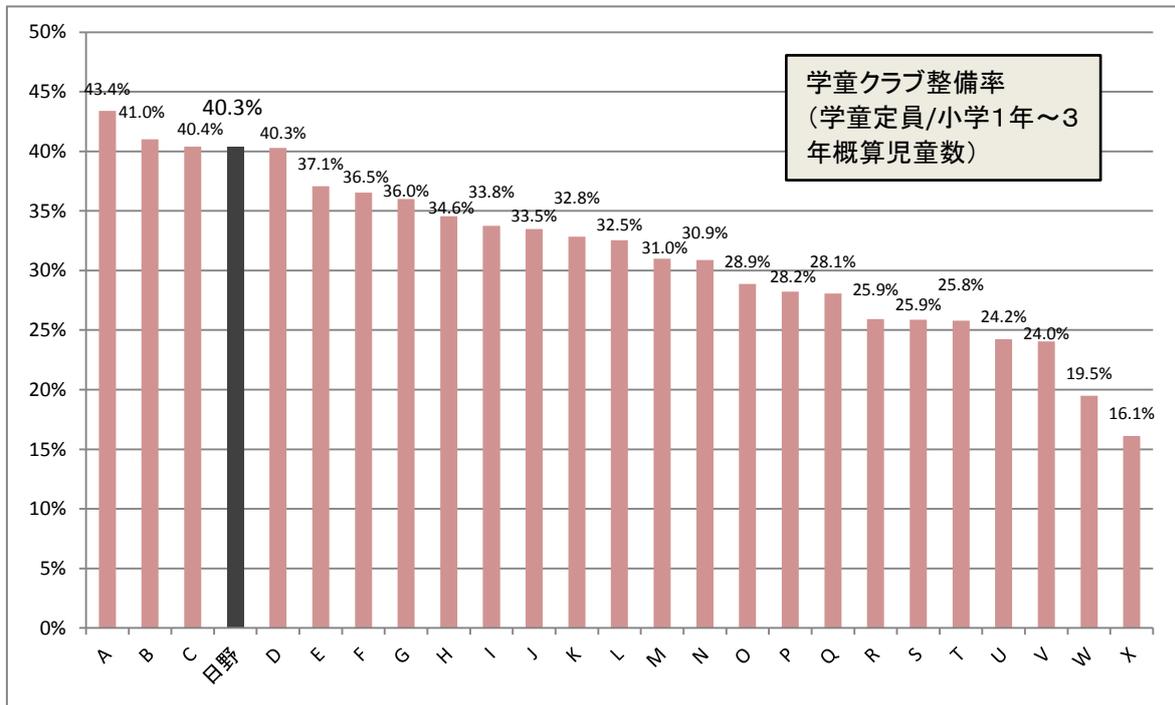
- 前回学童クラブ費の改定を行った平成11年度の入会児童数は864人であったが、その後も増加を続け、平成26年度には概ね2倍の1,687人となっている。
- この間、児童数の増加等に対応するため施設整備を進めてきた。特に平成22年度には、大規模学童(70名超)解消のため、25施設から33施設に増加。平成26年度には36施設(対11年度1.7倍)となった。

○学童クラブ児童数と施設数の推移



- その結果、平成26年度の6歳～9歳概算人口(各市の6歳～10歳未満人口の3/4)に対する学童クラブの受入れ定員の割合は、多摩地区26市の平均30.4%を大きく上回る40.3%で、26市中4番目となっている。なお、平成27年度当初、多摩地区26市で入会保留なしは、日野市を含め6市あるが、その内定員超過をしていないのは、日野市と昭島市の2市のみであった。

○多摩26市比較・学童クラブ整備率



※定員を定めていない1市を除いた25市で比較。